

政治的なきまじりの自治会、要求実現、文字民主化の自治会、
 財政的「安保決戦」な、統一戦線促進、民主的政府樹立な
 5.22 全国学生統一行動市工集会 12時半教養芝生 三全学連支持会議

曰10年前をよび返せ。日本人民の怒りに燃し、
 2、岸政府が安保改定を強行採決したことを、
 として本年6月22日安保定期限終了日。
 我々の手によって、安保条約を、一時的に破
 棄しうる歴史的段階に達したことを確認し。
 う。私達はどうするか。広大な統一戦線を
 日本全国に創り出すために、全四百六十
 学校の団結をうち固めよう。そして市下四千
 五百名の団結の場である全学自治会を再建す
 るために、すべてのウチウス、サーウル自治
 会再建
 動をゆにし、法務部委員会
 の提議した「自治会再建」のための学生大会要
 求署名、運動に積極的に取り組もうとはあり
 ませんか。

曰アメリカは、バトナム戦争の決定的破綻を、
 ロニール虐殺政府を利用して、カンボジャ、
 インドシナ全土に戦火を拡大する方向で解決
 しようとしているが、インドシナ三人民の
 共同斗争は発展しつつあり、アメリカの露骨
 な侵略政策は、各国人民の集中的批判をあび
 ている。

佐藤政府は「日米共同声明」の路線にそ
 づ、侵略に積極的な、加担政策をとることも
 打ち出しています。ジャカルタで開かれた、
 反共「アジア会議」において、ロニール一派
 の公然たる武器援助の要請に答えて、愛知外
 相は、攻撃ならば、日本政府は、資材その他
 を極力援助したい」と述べました。また、ア
 メリカの支配下にある「国際監視委」も復活
 させることに賛成し、カンボジャへの集団的
 介入をはかる反共がいちい政府の後援として
 て、日本政府は、参画しようとしていいます。
 曰アメリカのカンボジャ侵略が開始され直

後、カンボジアに兵を派遣し、
 平常の二倍の兵力が派遣される。佐
 藤は「七二年には沖縄返還」
 くる」と言っており、世論を再び
 うとしていますが、「七二年まで」
 バトナム戦争が終つていなければ
 沖縄返還を内定するといいう
 留条が、現実のものとなつて
 まる。ス、今進められしている
 過渡作業は、決してアメリカの
 侵略基地を縮小するものではない
 としての機能をさらに強化しよ
 というねらいのもとで、進めら
 れています。「七二年に政府返還」
 は、「核つき、基地つき、自治
 用」返還されることにより、
 土の米軍基地も、非親基地と同
 ように沖縄化され、日本全土に
 「アジア侵略基地になつていく
 用いていきます。

曰このような中で、全四百六十
 学友が、統一の旗をかかげ、
 全学連に結集してこうなら、
 の統一戦線に大きな役割を果す
 る。ス、市大全学友が、
 団結して、安保条約を廃棄する
 めに斗争自治会を再建すること
 何より重要なことではないとい
 国全学連は、6月23日を一ヶ月後
 かねた、今日の情勢で、「全学連
 統一行動」を提議し、今、全
 学連は、その斗争がまさか二
 います。
 市大全学連支持会議は、自治会
 更にとともに、5月22日市大生木会を
 よびかけたいと思います。